

個人投資家向けIRセミナー



コスモ・バイオ株式会社

2025.12.20

www.cosmobio.com

(証券コード：3386)



本日の内容

- ✓ コスモ・バイオは、設立40年超の**バイオ（ライフサイエンス）**の専門商社です
- ✓ 売っているものは、**研究用の試薬・機器**などです
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です
- ✓ 圧倒的な品揃え、情報提供力、商品仕入れ・管理のノウハウが強みです

①

- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造も開始しました
- ✓ 2016年からは、試薬以外の新規分野にも挑戦しています

②

- ✓ 2024年度に初めて売上高100億円を突破しました
- ✓ 株主還元策として自社株取得、配当方針変更を行いました

③

- ✓ 「資本コストや株価を意識した経営方針」を公表しています
- ✓ SDGsへの取り組み事例

④

本日の内容

- ✓ コスモ・バイオは、設立40年超の**バイオ（ライフサイエンス）**の専門商社です
- ✓ 売っているものは、**研究用の試薬**
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関
- ✓ 圧倒的な品揃え、情報提供力、商品仕入れ・管理のノウハウが強みです

①

主力の「商社事業」について

- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造
- ✓ 2016年からは、試薬以外の新事業

②

「製造・研究開発」について

- ✓ 2024年度に初めて売上高100億円
- ✓ 株主還元策として自社株取得、

③

業績・配当について

- ✓ 「資本コストや株価を意識した経営」
- ✓ SDGsへの取り組み事例

④

企業価値向上への取り組み

目的・理念

生命科学の進歩に資する

ライフサイエンス（生命科学）の研究に使用する
試薬、機器、サービスを提供する事業を行っています。

『ライフサイエンスに、研究を
「支える立場として」かわりたい』

そんな人材がコスモ・バイオには集まっています。

会社概要

社 名： コスモ・バイオ株式会社

所 在 地： 東京都江東区

代 表 者： 代表取締役社長 柴山 法彦

主な事業： 大学や公的研究機関、製薬企業などに所属する研究者の方々へ、研究に必要な試薬や機器・関連サービスを提供

設 立： 1983年8月

従業員数： 連結：177名 個別：142名（2025年6月30日時点）

グループ： ビーエム機器株式会社（連結）
COSMO BIO USA, Inc.（連結）
株式会社プロテインテック・ジャパン

あゆみ（パート1：商社）

石油会社の子会社
として誕生

石油会社から
独立

JASDAQ市場
上場

2010

ビーエム機器株式会社を子会社化
Acquired BM Equipment Co., Ltd.
as a subsidiary

2013

株式会社プライマリーセルを吸収合併
Merged Primary Cell Co., Ltd.

2016

Proteintech Group, Inc.との共同出資により、
株式会社プロテインテック・ジャパンを設立
Established a joint venture company "Proteintech
Japan Co., Ltd." with Proteintech Group, Inc.

2017

札幌事業施設を移転集約し、札幌事業所を開設
Opened Sapporo Site as R&D/manufacturing base for
Cosmo Bio products

2022

東京証券取引所スタンダード市場へ移行
Transition to the Tokyo Stock Exchange
Standard Market

100億円達成
Reached
10 billion yen

更なる飛躍へ
Towards further growth

生命科学の
進歩に資する
Advancing
Life Sciences

1983

丸善石油株式会社の子会社として
丸善石油バイオケミカル株式会社を設立
Founded Maruzen Oil Biochemical Co., Ltd.
as a subsidiary of Maruzen Oil Co., Ltd.

1986

コスモ・バイオ株式会社に社名変更
Changed company name to
Cosmo Bio Co., Ltd.

2000

MBO(マネジメント・バイ・アウト)により
コスモ石油株式会社から独立
Management buyout (MBO)
from Cosmo Oil Co., Ltd.

2004

COSMO BIO USA, Inc.を米国
カリフォルニア州カールスバッドに設立
Established COSMO BIO USA, Inc.
in Carlsbad, CA

2005

ジャスダック証券取引所へ上場
Initial Public Offering (IPO) on the JASDAQ
Securities Exchange

2006

株式会社プライマリーセルを子会社化
Acquired Primary Cell Co., Ltd.
as a subsidiary

1983 1985 1990 1995 2000* 2005 2010 2015 2020 2025

* 2000年は4-12月の9か月決算
Net sales shown for 2000 only account for the period from April to December

コスモ・バイオの役割

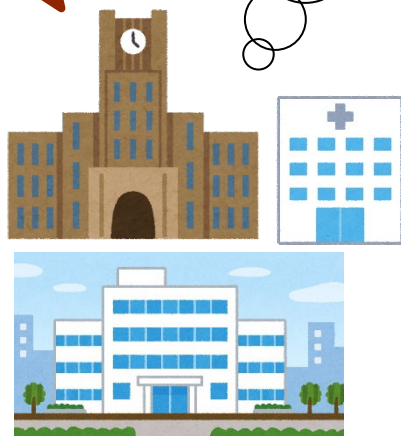


研究者

誰に

よくイメージする
バイオの仕事をする人
ですが、

コスモ・バイオは
ちょっと違い・・・



大学、企業等の研究室

研究（実験）に必要な
研究用試薬、機器・
器材、消耗品など

マイクロウェルプレート



チューブ



チューブ、
保温ブロック



ピペット、
チップ



超音波破碎装置



試薬（単品、キット品）



これらを提供するのが、私たちです

圧倒的な品揃え ～コスモ・バイオの“頼りがい”の基礎～

商品力



世界中から**1,000万品超**の
品揃え（約**500**サプライヤー）



研究者⇒コスモ・バイオを見れば何でもそろ

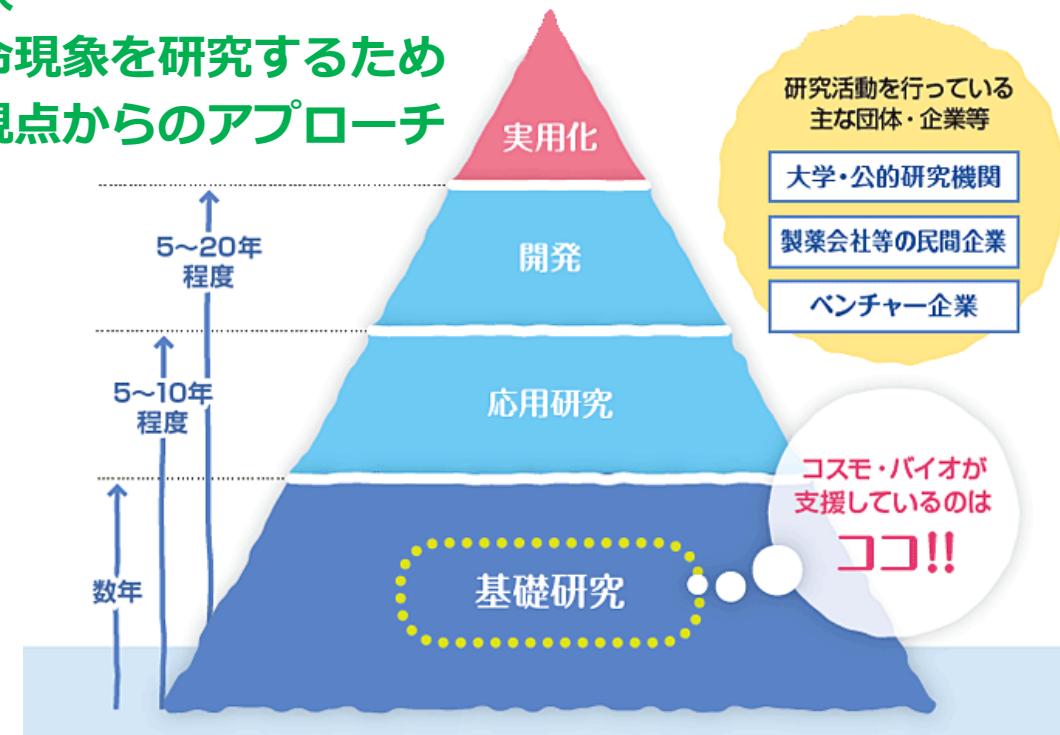
仕入先⇒コスモ・バイオにあれば見てもらえる

◎豊富な品揃え、その理由は・・・

基礎研究では、

- ・膨大な基礎研究&一人ひとり異なる実験
- ・多様な生命現象を研究するための様々な視点からのアプローチ

どんな研究もサポート
できるよう、取扱い
試薬はとてたくさん！



商品情報の管理・発信

情報力

◎ 1千万品超の商品情報を
的確に管理し、発信します

検索
できる



法令情報も
ここから

研究に
有用な情報を
提供



学会・展示会

商品情報／検索システム

品名 (免疫動物)	メーカー	品番	包装	希望販売価格(¥)
交差性	クローン	カタログ掲載情報	精製度	在庫 (入荷予定)
適用			毒創	保存
p Tyr536, - (Rabbit) 0000	CAC	TNL-002-SH2	100 UL	40000
			Serum	無 (無)
			-	-20℃
bit 0000	CAC	TNL-002-SH1	100 UL	40000
			Serum	無 (無)
			-	-20℃
Anti GAMKII, - (Mouse) 0000	CAC	TNL-001-CAM	100 UL	40000
			Asc	無 (無)
			-	-20℃
			WB/ IHC	



ニュースレター

最新情報を
提供

ラインアッ
プごとに
紹介



カタログ類



たくさんの商品から、どうやって選ぶの？

◎仕入先の商品（シーズ）をデータベース化し、
研究者にとって有用な商品情報をタイムリーにお届け

[ニーズとシーズのマッチング]

技術はあるけれど
営業力が・・・
宣伝費もない・・・



商品
豊富な品揃え

物流
専門知識で
適切な管理

情報
商品の情報提供

技術
高度な学術基盤
を持った人材



何かいい試薬が
ないかな・・・

ここにはあれば
見つけて
もらえる

商品
を1社1社から探す
時間があったら
実験したい・・・



コスモ・バイオグループ

商品仕入れ・商品管理のノウハウ

物流

◎ ライフサイエンス用試薬ならではの、
煩雑な輸入手続き、保管・管理手続き

煩雑って、
どうして？

試薬とは：

化学物質や、生物の体内から取り出した成分（タンパク質や細胞、
核酸等）など。 だから・・・

特別な保管が
必要？

- 毒劇物など危険物質が入っている場合
→ 法令で取り扱いが厳しく
定められている
- 動物由来成分が入っている場合
→ 動物検疫をうける対象となる

- 危険物質は法令に沿った管理が必要
- ナマモノだから、温度管理が厳重
(4℃、-20℃、-70℃・・・)



ライフサイエンス専門商社としての当社の役割 (まとめ1)



商品力

1. 圧倒的な品揃え

世界中のサプライヤー約500社から1,000万品超もの商品を取り揃え、あらゆる基礎研究のニーズに応えます。研究者の方々からは「コスモ・バイオを見れば何でもそろろう」という信頼を得ています。

情報力

2. 専門的な情報発信力

1,000万品を超える膨大な商品情報を的確に管理・発信し、研究者にとって有益な情報をタイムリーに届ける仕組みを持っています。

物流

3. 煩雑な手続きへの対応ノウハウ

ライフサイエンス用試薬特有の、法令（毒劇物など）や動物検疫、厳重な温度管理（例：-70℃）が求められる複雑な輸入・保管手続きを専門知識で支えています。

本日の内容

✓コスモ・バイオは、設立40年超の**バイオ（ライフサイエンス）**の専門商社です

✓売っているものは、**研究用の試薬**が中心です
主力の「商社事業」について

「**製造・研究開発**」について
供給力、商品仕入れ・管理のノウハウが強みです

✓2006年からは、**試薬の自社製造も開始しました**

✓2016年からは、**試薬以外の新規分野にも挑戦しています**

✓2024年度に初めて売上高100億円を達成しました

✓株主還元策として自社株取得、

業績・配当について

✓「資本コストや株価を意識した経営」を推進しています

✓SDGsへの取り組み事例

企業価値向上への取り組み

メーカー機能を備えた商社へ

メーカー機能を持つ目的

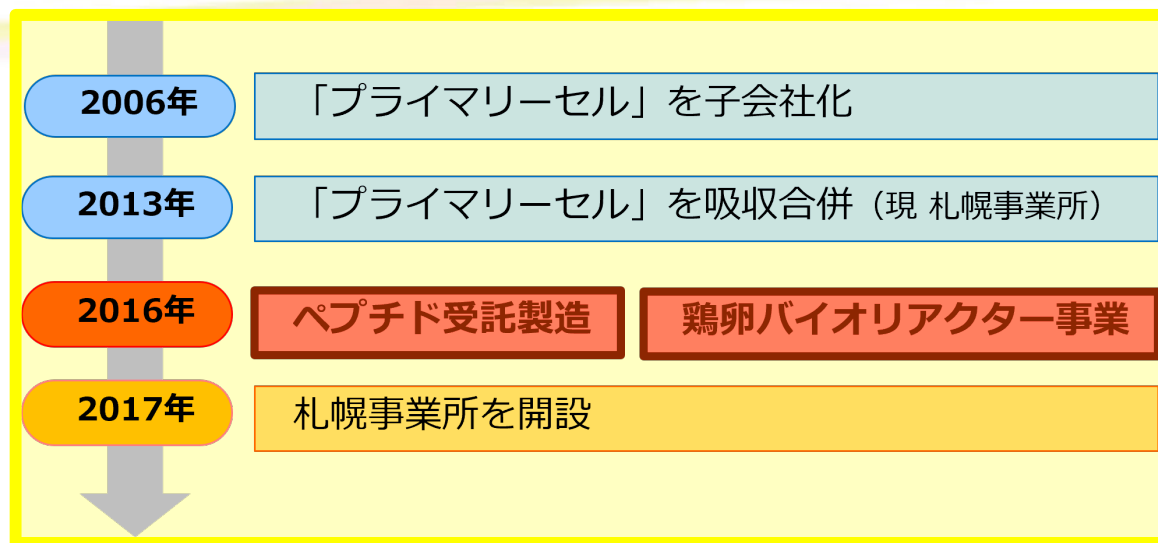
- 市場にない（付加価値の高い）試薬やサービスを自社でつくる
- 自社製造品は為替の影響を受けにくく、安定した利益確保につながる
- 事業領域を拡大し、さらなる成長をめざす



札幌事業所の外観

2017年10月 札幌事業所稼働
今後のさらなる事業の拡大に備えるため、
開発・製造拠点の統合・拡張を実施

あゆみ（パート2：製造・研究開発）



2010
ビーエム機器株式会社を子会社化
Acquired BM Equipment Co., Ltd.
as a subsidiary

2013
株式会社プライマリーセルを吸収合併
Merged Primary Cell Co., Ltd.

2016
Proteintech Group, Inc.との共同出資により、
株式会社プロテインテック・ジャパンを設立
Established a joint venture company "Proteintech
Japan Co., Ltd." with Proteintech Group, Inc.

2017
札幌事業施設を移転集約し、札幌事業所を開設
Opened Sapporo Site as R&D/manufacturing base for
Cosmo Bio products

2022
東京証券取引所スタンダード市場へ移行
Transition to the Tokyo Stock Exchange
Standard Market

100億円達成
Reached
10 billion yen

更なる飛躍へ
Towards further growth

1983
丸善石油株式会社の子会社として
丸善石油バイオケミカル株式会社を設立
Founded Maruzen Oil Biochemical Co., Ltd.
as a subsidiary of Maruzen Oil Co., Ltd.

1986
コスモ・バイオ株式会社に社名変更
Changed company name to
Cosmo Bio Co., Ltd.

2004
COSMO BIO USA, Inc.を米国
カリフォルニア州カー尔斯バッドに設立
Established COSMO BIO USA, Inc.
in Carlsbad, CA

2006
株式会社プライマリーセルを子会社化
Acquired Primary Cell Co., Ltd.
as a subsidiary

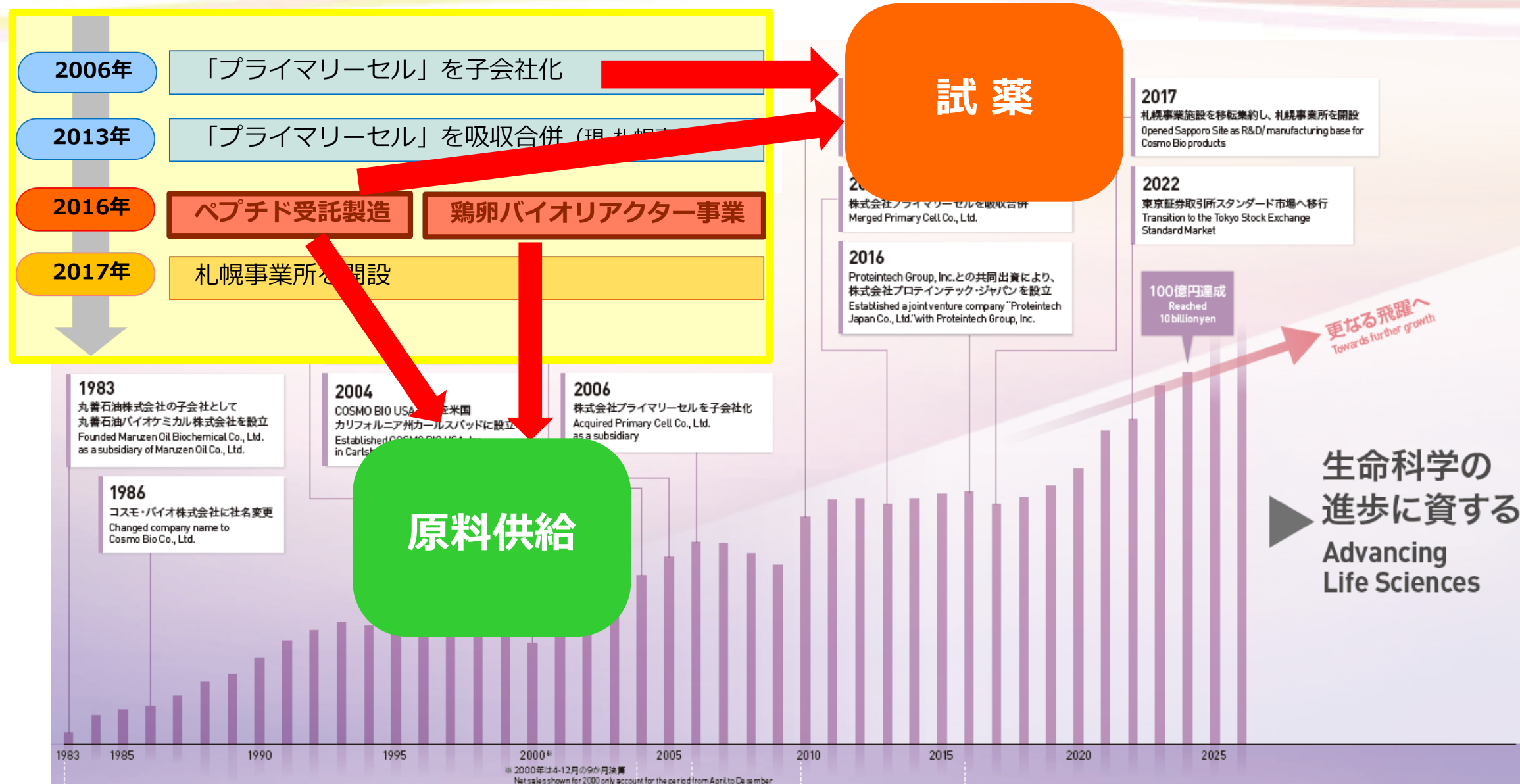
製造・研究開発に
乗り出す最初の
きっかけ

生命科学の
進歩に資する
Advancing
Life Sciences

1983 1985 1990 1995 2000※ 2005 2010 2015 2020 2025

※ 2000年は4-12月の9か月決算
Net sales shown for 2000 only account for the period from April to December

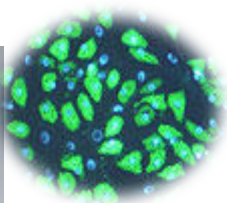
あゆみ（パート2：製造・研究開発）



初代培養細胞ほか、研究用試薬

初代培養細胞：

生体から取り出した細胞を培養したもの
(第1回目の継代を行うまでの細胞)
より実際の生体に近い状態での実験が可能に



脂肪細胞と専用培地

≪製造品目≫

 細胞／細胞培養製品	 アッセイキット関連	 エクソソーム/EV関連
 抗糖化／老化関連	 HIENAI(ひえないシリーズ)	 定温輸送容器

ペプチド受託製造

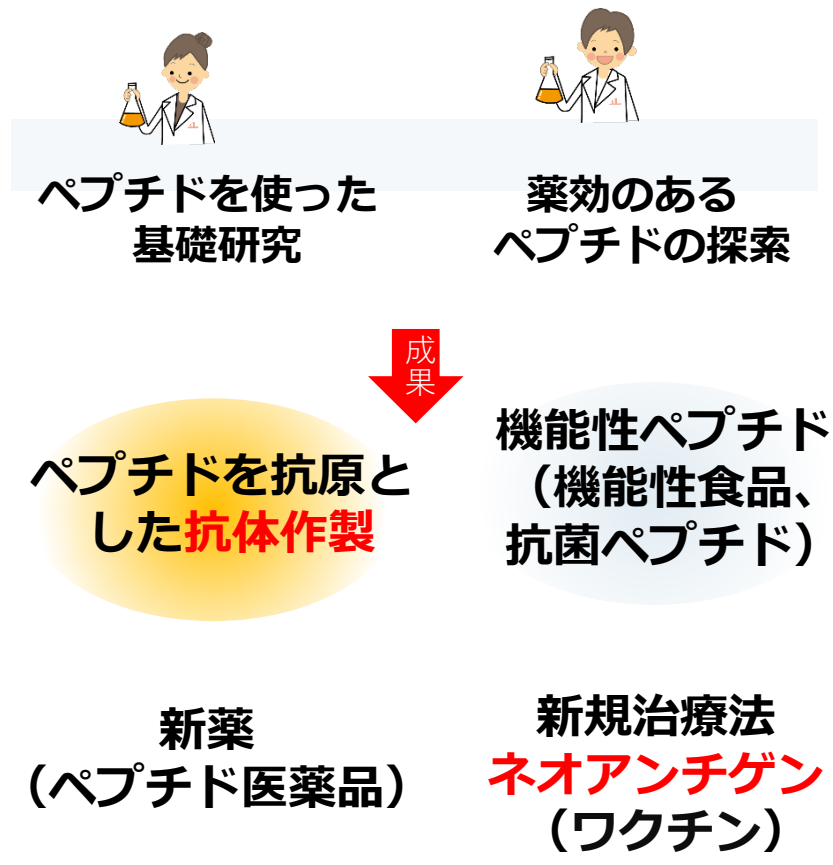
何を作っているの？

- 研究者の要望にあった配列のペプチドをカスタム合成
- ペプチドを材料（抗原）とした、抗体作製の受託サービスもあわせて展開
- 少量・多種類・短納期での製造
- 年間15,000本以上の製造キャパシティ



ペプチド合成装置

何に使われるの？

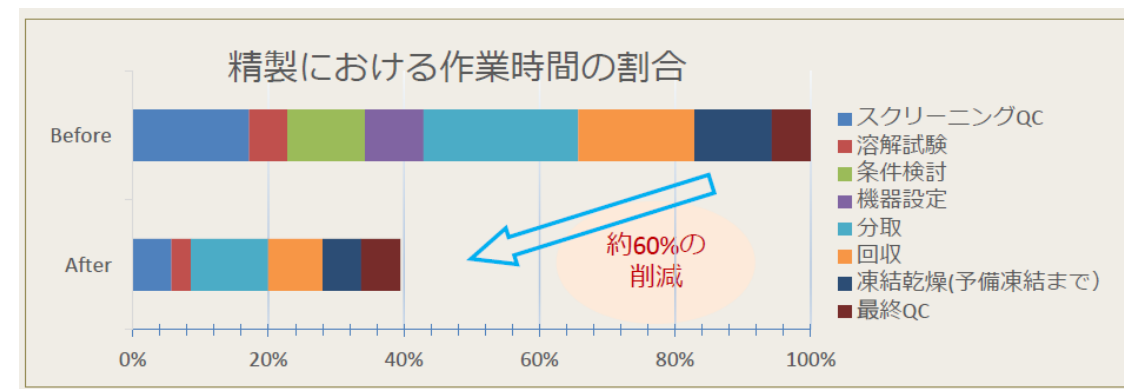


ペプチド受託製造（最近のトピックス）

■ 札幌事業所における製造機能強化の取り組みとして、生産設備の増強、ペプチド製造プロセスのDX化などを実施しました。

ChromaJean社のペプチド精製プラットフォーム利用による効率化

- 通常品の精製にかかる作業時間を約60%削減
- 精製作業時間の短縮による納期短縮
- 溶媒使用量が約半分に減少しコスト削減・環境負荷低減
- 従来品と同程度の高い精製度を維持
- DX化による属人化の解消

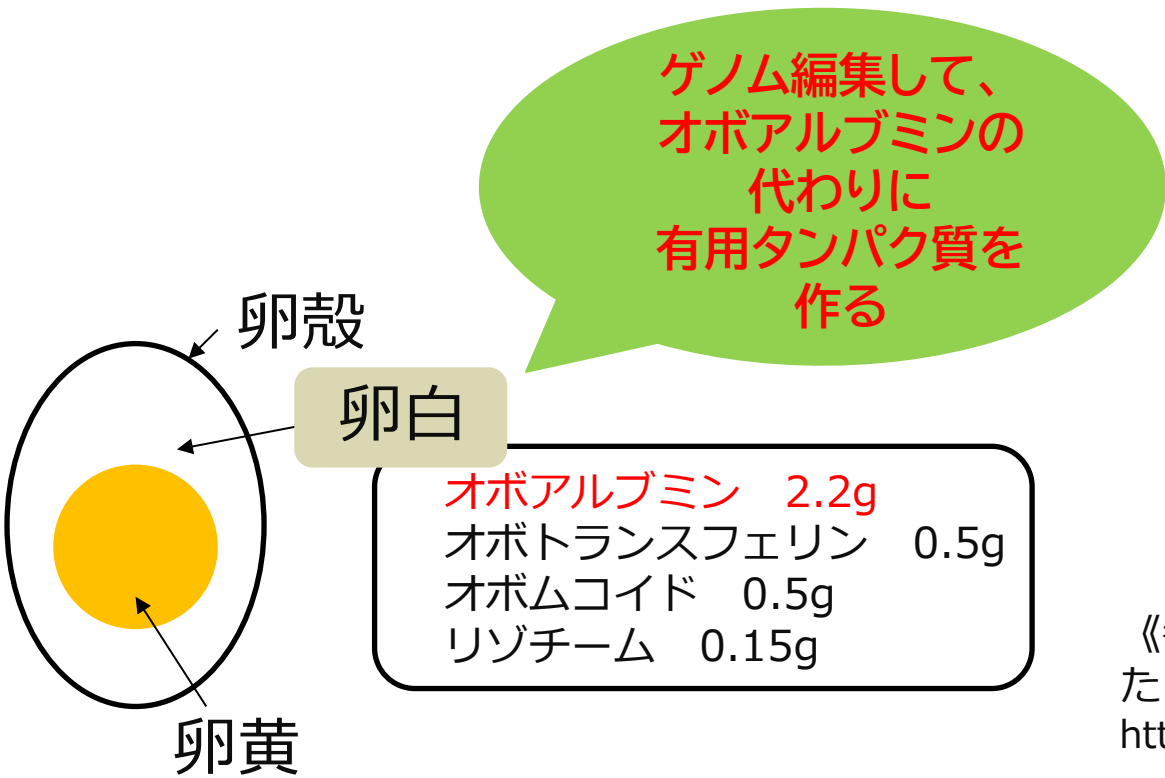


上記(ChromaJean社プラットフォーム導入)による生産性の効率化の他、製造プロセスの最適化や品質管理体制の強化に取り組んでいます。

鶏卵バイオリアクターによるタンパク質製造

◎ 鶏卵バイオリアクターを用いたタンパク質製造

ゲノム編集したニワトリの卵を“生きた工場（バイオリアクター）”として活用し、ニワトリの卵の白身の部分に有用タンパク質を安価かつ大量に生産する革新的技術



- ・安価・大量製造
- ・幅広い応用分野（医薬品、食品・・・）



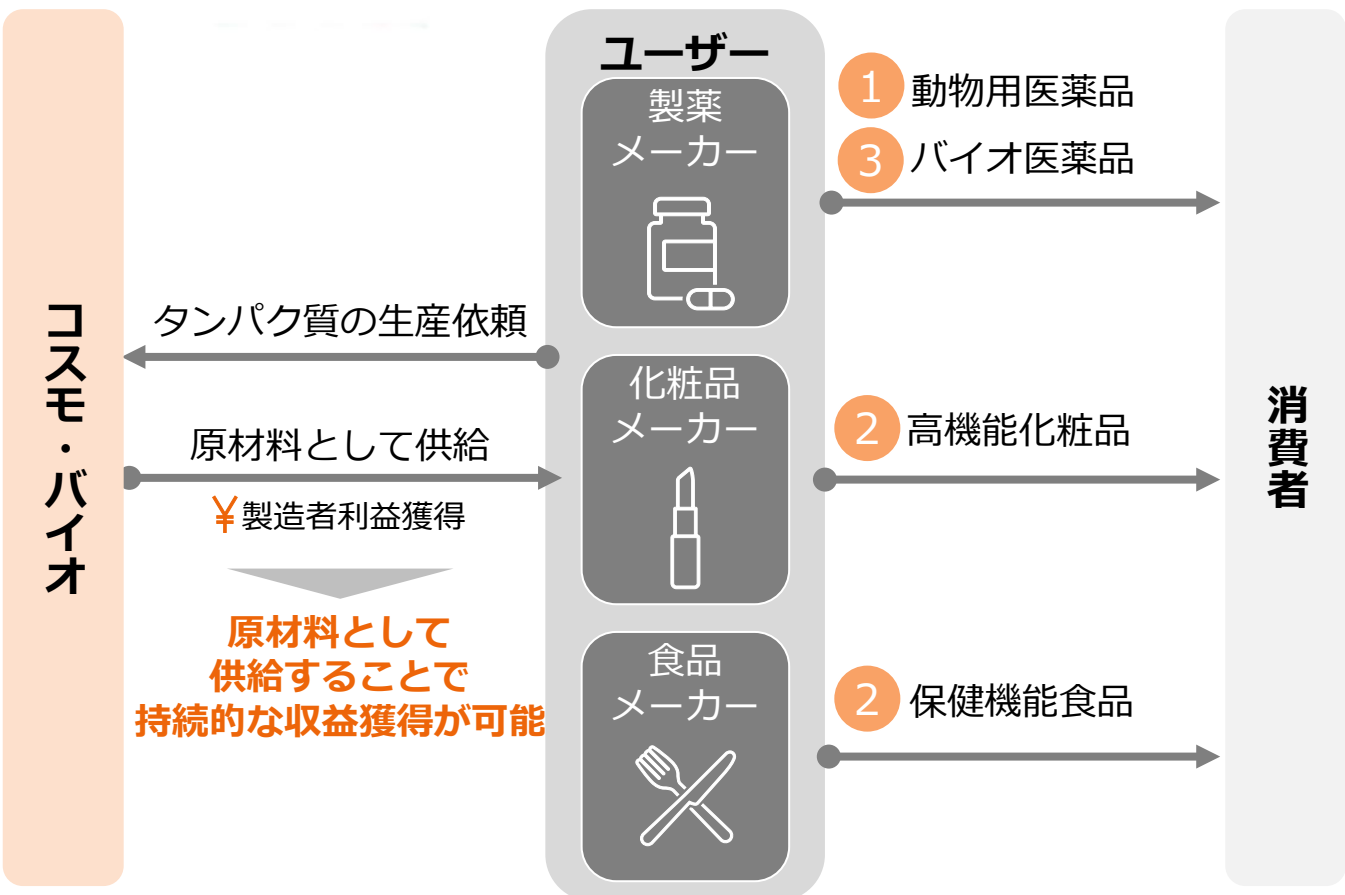
研究用試薬ではなく**原材料供給**としてのタンパク質製造



《参考》ライフサイエンスの世界 【第19回】
たまごの可能性 ～目的とするタンパク質を、安く大量につくる～
<https://www.cosmobio.com/jp/ir/world/rpt2019-37-4q-egg-bioreactor.html>

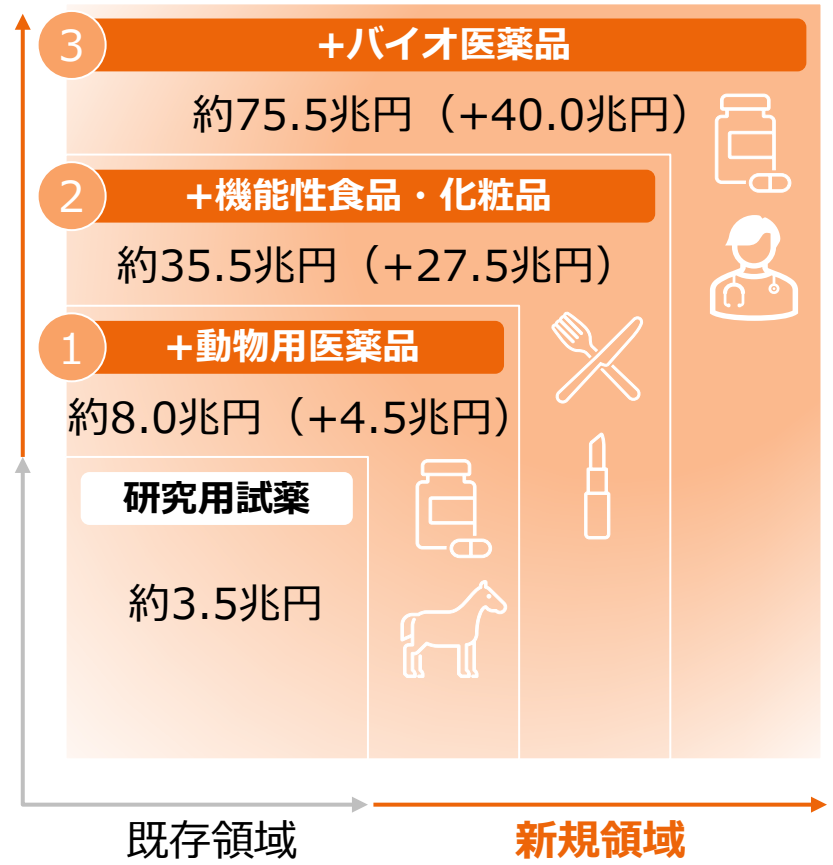
鶏卵バイオリアクターによるタンパク質製造

■ ビジネスモデル



■ グローバル累計市場規模*

※ () は累計ではなく、各市場規模の数値を記載



*(出所)
「世界の動物用医薬品市場に関する調査レポート2024-2036」「機能性食品の世界市場2023-2030」「機能性化粧品市場：機能別、用途別-2024-2030年の世界予測」
「世界のバイオ医薬品市場に関する調査レポート2024-2036」より引用

鶏卵バイオリアクターによるタンパク質製造 (最近のトピックス)

■ 甘味タンパク質「ブラゼイン」の開発・製造に成功しました 2025/11/13リリース

「ブラゼイン」とは

- 甘味をもつ「タンパク質」で、砂糖の代替として期待されている
- 「タンパク質」なので、摂取後の代謝経路が砂糖とは異なり、糖尿病などの砂糖の摂取量を制限しなければいけない場合の代替となりうる



鶏舎の増築を進めています
(1棟目は年内に完成予定)

「ブラゼイン」を鶏卵バイオリアクターで製造

果物から「ブラゼイン」を抽出してくることは困難で、また、人工的に作る方法ではコスト面や「ブラゼイン」の立体構造を保った状態で製造するのが難しいなか、鶏卵バイオリアクター技術では、

- 製造コストが他の製造方法と比べて安価
- 立体構造を保ち、機能を維持した「ブラゼイン」を製造可能 などの優位性がある

メーカー機能を持ってやりたいこと (まとめ2)

◎ 商社事業に加え、生命科学の進歩に役立つために・・・

①初代細胞ほか試薬製造・受託試験	市場にない試薬・サービスを提供（研究用試薬、サービスの充実）
②カスタムペプチド合成	研究用の提供もありつつ、原料としての提供など、 研究用から一步踏み出した製造・サービス
③ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造 (鶏卵バイオリアクター事業)	研究用試薬ではなく、 原料供給を主な目的とした製造

**研究用試薬だけでなく、原料としての製造など、
ライフサイエンスをもっと広くサポートするべく、
新たな技術を導入していきます。**

本日の内容

- ✓コスモ・バイオは、設立40年超の**バイオ（ライフサイエンス）**の専門商社です
- ✓売っているものは、**研究用の試薬**
- ✓お客様は、大学や公的研究機関
- ✓圧倒的な品揃え、情報提供力、商品仕入れ・管理のノウハウが強みです

①

主力の「商社事業」について

- ✓2006年からは、試薬の自社製造・販売に加え、**海外の新薬・医療機器の代理店**として、グローバル展開を推進しています

業績・配当について

②

「製造・研究開発」について

- ✓2024年度に初めて売上高100億円を突破しました
- ✓株主還元策として自社株取得、配当方針変更を行いました

③

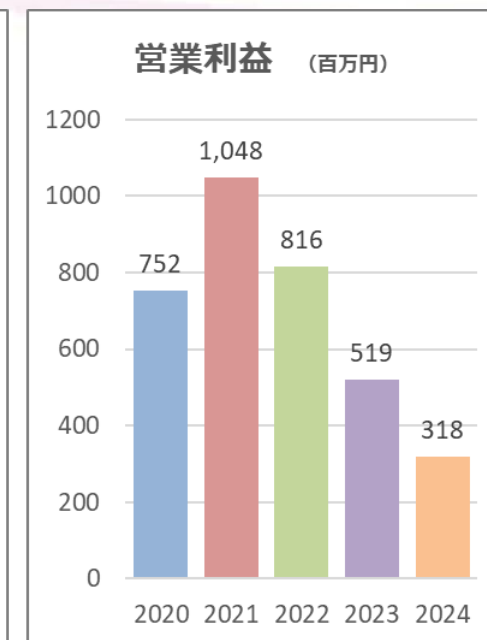
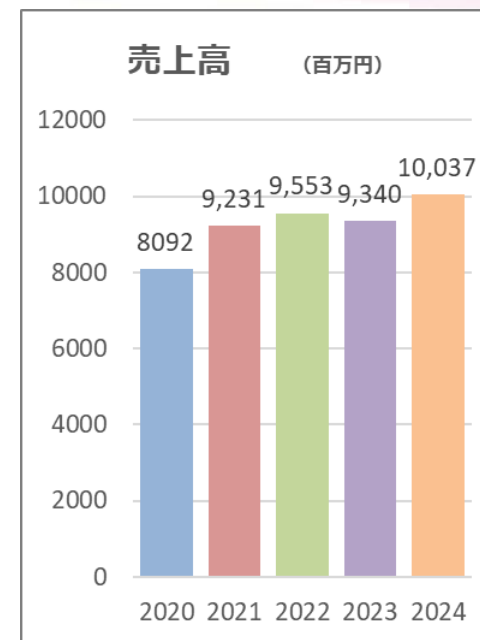
- ✓「資本コストや株価を意識しながら経営」を推進しています
- ✓SDGsへの取り組み事例

企業価値向上への取り組み

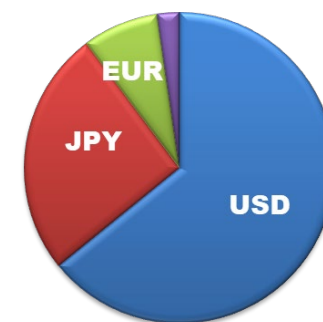
④

連結業績ハイライト（2025年12月期第3四半期）

連 結	売上高	7,885百万円	(前年比 6.4%増)
	営業利益	275百万円	(前年比 25.4%減)
	経常利益	369百万円	(前年比 3.9%減)
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	272百万円	(前年比 6.3%減)



【2024年
通貨別仕入】



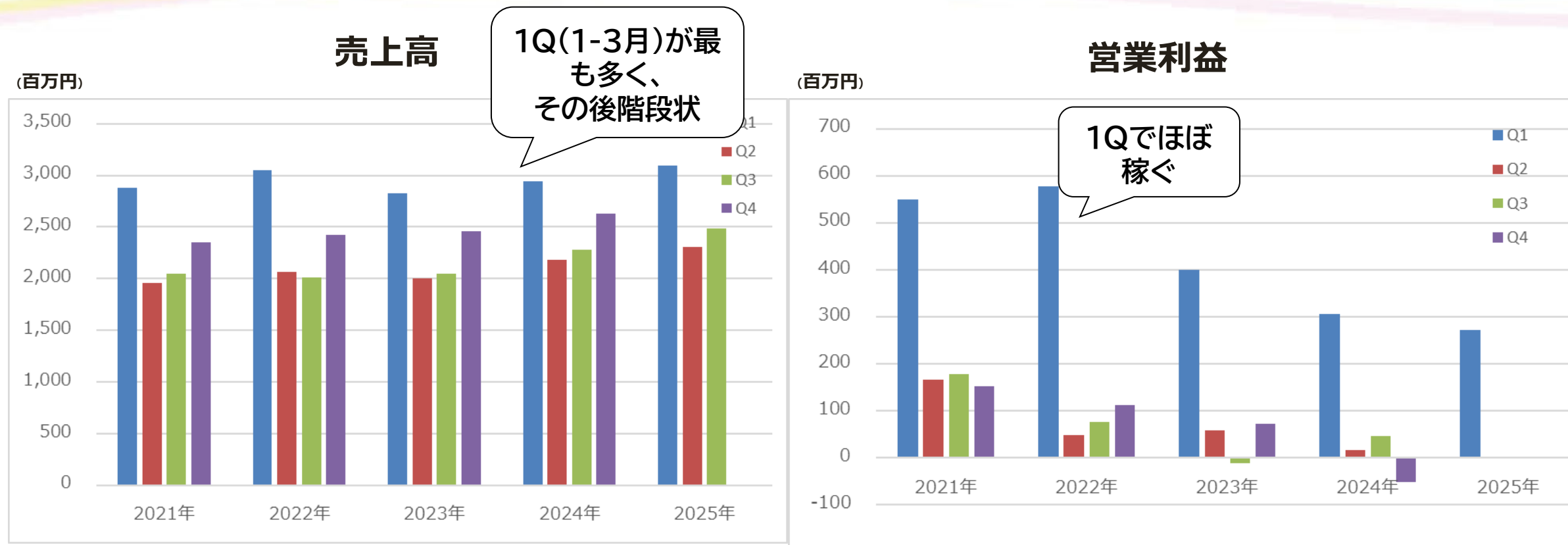
主な要因

- ・試薬販売は堅調、受託サービス、消耗品は復調
- ・為替レートは、前年同期に比べ2円の円高（148円/ドル）
- ・積極的な投資により販管費が増加し、各利益が減益

【平均為替レートの推移（円／ドル）】

2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
107円	108円	128円	140円	149円

四半期別動向（売上高、営業利益）



【売上・利益構造】

従来の四半期別売上高の傾向は、Q1で最も多く、Q2以降階段状に上がる。近年、政府予算の一部繰り越しができるようになり、この傾向も緩やかになっている。

従来の四半期別営業利益の傾向は、Q1で最も利益を得て、その後は売上動向・販促活動量の増加に伴い利益獲得が少ない傾向。

通期業績見通し

(金額単位：百万円)

	24/12月期 通期実績	25/12月期 通期予想	対前年比	(参考) 25/12月期 中間実績
売上高	10,037	10,700	6.6%	5,402
営業利益	318	490	53.8%	276
経常利益	364	580	59.2%	343
親会社株主に帰属する 当期純利益	262	430	64.1%	250

平均為替レート	24/12月期 実績	25/12月期 上期実績	25/12月期 下期予想
円／USドル	149円	149円	152円

株主還元について

(昨年) 2024年8月5日の取締役会にて、
「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」方針を
決議しました。

・ ROE8%以上の達成

・ 株主資本コストの低減

これらを実現させ、早期にPBR1倍以上の株価水準を目指します。

この方針に基づき、①**自己株式取得実施**、②**配当方針の見直し**を行いました。

①自己株式取得

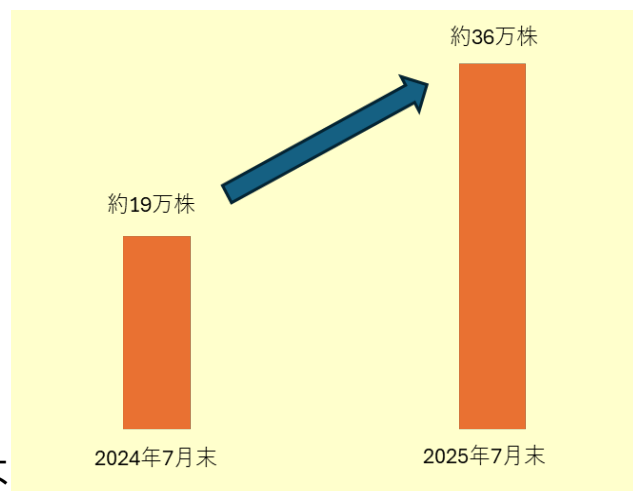
(2024年8月～2025年7月)

＜実施結果＞

取得価額：230,509,300円

取得株数：205,000株

発行済株式に対し、自社株の保有比率は
約3%増え、**約6%**となりました



②配当方針の見直し

(2024年8月5日決議)

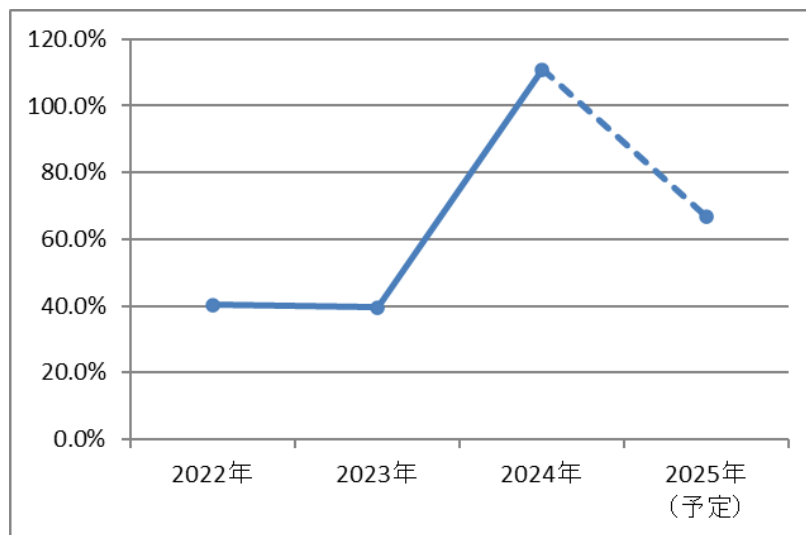
配当性向30%～40%という従来の
配当方針を変更し、

**株主資本配当率 (DOE) 3.5%と配当
性向60%のいずれか高いほう**を基準
とした配当を実施することとしました

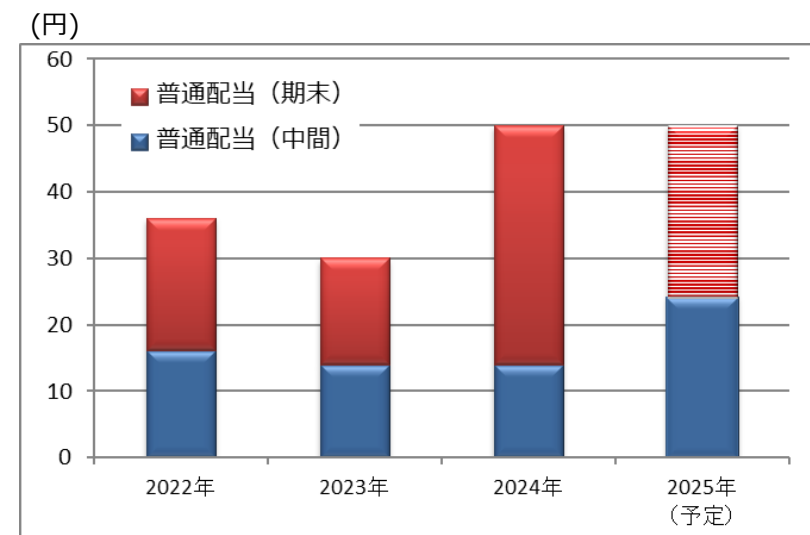
株主還元について

	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2023年 12月期	14円	16円	30円
2024年 12月期	14円	36円	50円
2025年 12月期	25円	25円（予定）	50円（予定）

連結配当性向の推移



1株当たり配当額の推移



本日の内容

- ✓ コスモ・バイオは、設立40年超の**バイオ（ライフサイエンス）**の専門商社です
- ✓ 売っているものは、**研究用の試薬**
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関
- ✓ 圧倒的な品揃え、情報提供力、商品仕入れ・管理のノウハウが強みです

①

主力の「商社事業」について

- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造
- ✓ 2016年からは、試薬以外の新

②

「製造・研究開発」について

- ✓ 2024年度に初めて売上高100億円を突破しました
- ✓ 株取得、配当方針変更を行いました

③

企業価値向上への取り組み

業績・配当について

- ✓ 「資本コストや株価を意識した経営方針」を公表しています
- ✓ SDGsへの取り組み事例

④

企業価値・株主価値向上の取り組み -エグゼクティブサマリー-

2024年8月5日開示

■ ROE8%以上の達成とCoE*の低減を実現し、早期にPBR1倍以上の株価水準を目指す

STEP 0 ステークホルダー・エンゲージメントの強化

- 当社は現状PBR1倍割れの状態で推移。改善に向け、投資家との情報の非対称性解消が重要と思料
- IR手段及びコンテンツの両軸での改善を推し進め、資本コスト低減を図る

STEP 1 株主還元の強化/バランスシートの最適化

- 今期よりDOEを配当指標として導入し、DOE3.5%と配当性向60%のいずれか高い方を基準とした配当を実施
- 業績・経営環境に応じた機動的な資本政策の一環として、総額3億円の自己株式取得を実施

STEP 2 IT活用による商社ビジネスのグローバル化

- グループ間データベース共通化及び生成AI等の活用によるデジタルマーケティングの実装により、商社ビジネスのグローバル化及び適切なプライシング等による高収益体質を構築

STEP 3 新規ビジネス創出による収益源の拡大

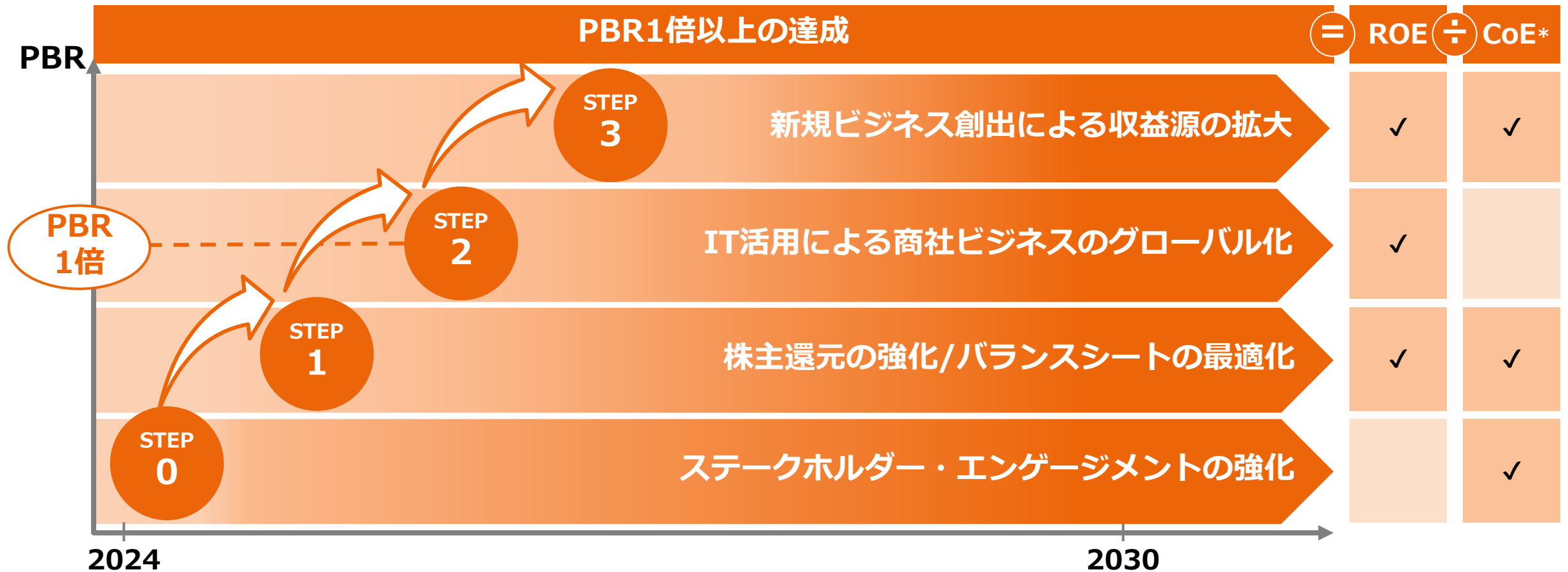
- 鶏卵バイオリアクター事業を核とした新規ビジネス創出により、新たな収益源の獲得を企図

*CoE : Cost of Equity (株主資本コスト)

2024年8月5日開示

企業価値・株式価値向上に向けて

■ STEP 0/1を第一の矢とし、第二の矢であるSTEP 2の実施段階にてPBR1倍の達成を目指す



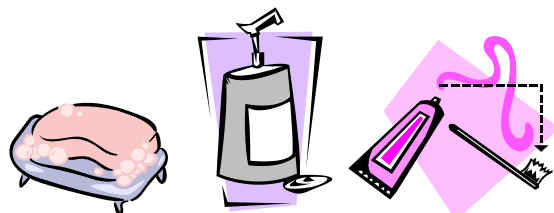
SDGsへの貢献：試薬の役割



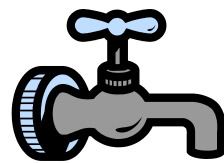
- ライフサイエンスは、人々が元気で楽しく幸せに暮らすためにとても大切な技術として、私たちの生活を支え、同時に経済や社会の発展にも大きく役立っています。
- その、ライフサイエンス研究を支えるのが『試薬』です。

SDGsへの貢献：試薬の役割

実際のみなさんの生活には直接関わりがないように思われますが、
試薬は身の回りのさまざまなものの開発・発明や品質管理に使用
 され、まさに生命を支える高い使命・大きな責任を担っています。



歯磨き粉や石鹸の開発



水道水の水質管理



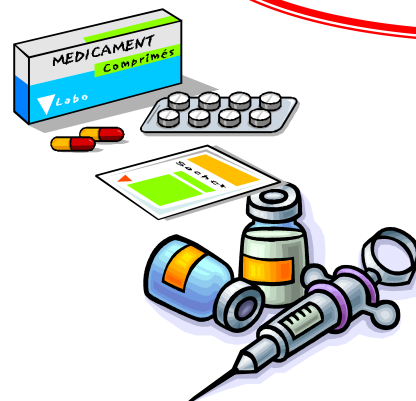
次々に発売される
おいしい食品の開発



家電製品等の改良



食材の安全性検査



医薬品開発や検査薬



液晶画面の開発



新素材の開発



柔らかくて暖かい布団

SDGsへの貢献：取り組み例

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界一いきたい科学広場in宗像』

【講座の一例】

地域の小中学生キャリア教育の一環としての
「お仕事ノート」
「お仕事ブック」への協賛



『お仕事ノート/お仕事ブック』

『iGEM生物ロボットコンテスト』

参加日本チームへの支援

合成生物学の国際的な学生コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています

『北海道大学』

【参加されたチームの一例】



ウェブサイトの情報もぜひご覧ください

【社会・地域コミュニティへの貢献】

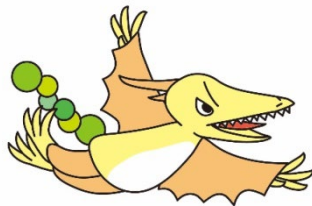
<https://www.cosmobio.com/jp/sustainability/social/community/>





人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 総務部
ir-contact@cosmobio.co.jp
《当社IRサイト》
<https://www.cosmobio.com/jp/ir/>



コスモ・バイオ オリジナルキャラクターの紹介ページ： <https://www.cosmobio.co.jp/character/>

